

# 決算審査特別委員会での審査状況

平成25年度の一般会計、各特別会計（国民健康保険事業、地方卸売市場事業、後期高齢者医療、介護保険事業、温泉事業）、企業会計（水道事業、下水道事業、病院事業）決算は、9月16日、17日、19日に開催された、議員全員で構成される決算審査特別委員会で審査され、いずれも認定すべきものと決まりました。

主な質疑を要約し、掲載します。

## 一般会計

**質問** 県補助金の道路照明灯・防犯灯維持運営事業費の概要は。

**答** 電源立地地域対策交付金を使い、市で設置している道路照明灯、防犯灯の電気料の一部に充てました。

**質問** 元気な十和田市づくり市民活動支援事業は今年度も多くの団体で活用されているが、今後も継続する考えはあるか。

**答** この事業は大変好評で、大きな成果を上げつつあり、市民との協働によるまちづくりのためには不可欠だと思っております。

**質問** 老人クラブ会費をふやす対策は。

**答** レクリエーションなど楽しむ部分ももちろんですが、社会的貢献度も高いので、町内会や婦人会へ説明をしながら、個人ではなく仲間募って参加しやすいような勧誘をしていきたいと考えています。

**質問** 十和田湖の水質調査結果にもとづいて、市では今後何をやるうとしているのか。

**答** 県等では毎年経年的な調査をしていることを踏まえ、今後とも関係団体と連携しながらデータ等の収集に努め、環境の推移を見守っていく方針です。

**質問** 緊急雇用創出事業は次の雇用までのつなぎとして就業機会等を創出して生活の安定を図ることが大前提の事業だと思うが、実情を把握しているか。

**答** 追跡調査はしていませんので、実態は把握していません。

**質問** ヒメマスのブランド化も大事だが、安く提供し、気軽に食べられるような環境をつくるのが大事だと思うが。

**答** 価格戦略に取り組むべきと考えており、八月には試験的に一キログラム当たり五百円値引きしてみました。その検証結果はまだ出ていませんが、取り扱い量はふえています。

と伺っています。

**質問** 十和田産品を使った新商品開発やブラッシュアップ（磨き上げ）した商品の手ごたえはどうか。

**答** 発売の翌月から効果が出ており、少ないもので二倍から三倍、あるいは十〜二十倍増になっている商品もあり、非常に手ごたえを感じています。

**質問** 中心市街地活性化事業の、街なか定住支援事業などの相談件数は。

**答** 街なか定住支援事業の相談件数は三十五件、うち事業対象は二十一件、都市型共同住宅整備促進事業の相談件数は四件、うち事業対象は二件。街なか住宅整備促進事業の相談件数は三件、うち事業対象は一件でした。対象外になった理由の大半は中心市街地活性化区域外ということでした。

**質問** 道路整備パートナーシップ事業で整備した道路に対する市民からの反応は。

**答** 実施に当たっては市土木課の技術職員もアドバイザーしており、業者に発注するものと比べても出来栄はほとんど変わらないと思います。市民からも町内会の要望どおりのものができたと大変喜ばれています。

**質問** 公共施設の耐震診断の結果、市民屋内グラウンド、南屋内グラウンドが十二月から利用できないとのことだが、代替施設はどうなっているのか。

**答** 代替施設については洞内にあるおらんどーむと焼山にあるアネックススポーツランドを考えています。また、学校開放事業で小中学校の体育館も利用できないか検討しています。

## 特別会計

（国民健康保険事業）

**質問** 特定健康診査の昨年度の受診率は。

**答** 目標は三五%でしたが、実績は概数で三一・九%と目標に達していない状況でした。

**質問** 受診率を上げる

取り組みは。

**答** 保険協力員と一緒に町内会への働きかけやかかりつけ医からの受診勧奨などに加え、昨年度から十二月を『けんしん推進強化月間』と定め、広報紙での周知や講演会などを開催することで周知を図りました。

## 企業会計

（病院事業）

**質問** 健診センターの活用に関して、市内事業所への健診の勧誘はどうなっているか。

**答** 各事業所ではスケジュールの関係から早朝に健診車を呼んで実施しているとのこと、当院には健診車がないことから受け入れは困難な状況です。しかし、個人的に受診する方や人間ドックを希望する方などもありますので、その方々へのご利用をお願いしました。また、今年度は試験的に日曜日に乳がん検診を実施するところとします。